

常陸大宮市教育委員会 7 月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 7 月定例会
- 2 開催日 令和 8 年 7 月 2 7 日（月）午前 1 0 時 0 0 分から
午前 1 1 時 4 8 分まで
- 3 開催場所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出席者
 - （1）教育長 小野 司寿男
 - 委員 宮本 亜希子
 - 委員 菊池 久義
 - 委員 楠 加代子
 - （2）事務局及び説明者
 - 教育部長 小室 修
 - 学校教育課長 小泉 博美
 - 生涯学習課長 高橋 誠二
 - 文化スポーツ課長 戸澤 睦
 - 指導室長 阿部 倫子
 - 学校教育課課長補佐 相田 英樹
 - 学校教育課主幹 梶山 明日香
- 5 報告
 - 報告第 1 7 号 教育長報告について
 - 報告第 1 8 号 指定学校の変更許可について
 - 報告第 1 9 号 令和 8 年度就学援助申請に伴う児童生徒の認定結果について
- 6 議案
 - 議案第 3 9 号 令和 9 年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級（知的障害）において使用する教科用図書について
 - 議案第 4 0 号 常陸大宮市文書館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 7 その他
 - （1）各課及び教育委員の行事予定について
 - （2）教育委員会所管事務契約案件報告について
 - （3）その他

8 次回の定例会日程について

9 閉 会

10 傍聴人の人数 5 人

11 会議の大要

小野教育長 本日の会議に 5 人の傍聴希望者がおりますので、報告いたします。

傍聴人の方は、注意事項を守って傍聴をお願いいたします。

本日の欠席者は 1 名です。

定足数に達していますので、ただいまより、常陸大宮市教育委員会 7 月定例会を開会いたします。

(午前 10 時 00 分開会)

小野教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。

議事録署名人に楠加代子委員を指名いたします。

本日の会議日程は、お配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程 2 報告」を議題といたします。

報告第 17 号 教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

本日たくさんの協議がありますので、簡単にしたいと思います。

まず 7 月 4 日にプール開きがありまして、大宮のプールに大変、人が来ているということで、大にぎわいだということでございます。

それから同日、ミュージックフェスティバルのファイナルということで、大変お世話になりました。ロゼホールの方で行いました。

それから、机上にお配りしましたが、7 月 2 日に交通安全子供自転車県大会がございまして、山方南小学校の 6 年生が参加いたしました。なんと 9 位という好成績を収めました。実技それから筆記のどちらもかなり高得点を取らないと、なかなか上位に入賞できないんですが、9 位ということで。しかも新聞に山

方南小学校しか出ていないような。記事にうちの小学校だけ取り上げていただきまして、たくさん大きな写真まで入っていて、大変良かったかと思います。学科の方も非常に成績が良くて。ただ、指導の方が非常に大変ですね、時間が無い中で。先生方も非常に協力してくださって、校長先生が本当に一生懸命やってくださって、安全協会の方からも大変お世話になったということです。自転車は中学校1年生の4月に事故が多発しており、今は小学生が自転車に乗って遊びに行くことすらあまりしない時代になったということなので、大変なことではあるんですけれども、指導の方は継続していきたいなと思っております。

それから7月9日と17日の2日にわたりまして、教育委員の前期の学校訪問をしていただきました。ありがとうございました。大変お世話になりました。

それから7月24日からは夏休みに入っております。当日に校長会があったものですから、夏休み中の水難事故防止を初めとする事故防止。それから最終日にラーケーションで学校を休んだ子が10人近くいたりとか。昔と違ってきて、最後の日になるんですが。それから学校不適應関係で、不適應気味でちょっと学校に来づらくなった子が休んだということで、この子に関しては夏休みの間は学校に行かなければならない日では無くなるので、休みで。そのストレスがストレスサーとして機能していないときに学校からなるべく関わっていただいて、例えばもし学校に来てみたかったらちょっと来て、一緒に勉強してみないかとか、それから一緒に遊んでみないかとか。そういうことができるように、細かい配慮や支援を校長の方をお願いしました。あと学期末に、心配な学級もいくつかあって、男の子がだいぶ授業中に暴れているというか、そういうことがあったものですから、最後の1週間、教育委員会と保護者会を開いたりとか対応をしまして、9月にまた新しく始まるときに、さらに対応が継続できるようにしたいと考えております。

報告については以上でございます。ただいまの件について、質問があればお

願います。

無いようですので、次に移ります。

ここで皆様にお諮りいたします。

この後の「報告第18号」「報告第19号」につきましては、個人情報に関する内容が含まれております。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第7項の同項のただし書きの規定により、人事に関する事件その他の事件について教育長または委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、会議を公開しないことになっています。

つきましては、個人情報保護の観点から、会議を非公開にしたいと思いますが、賛成の委員の挙手を求めます。

(委員全員 挙手)

小野教育長 全員一致ですので、「報告第18号」「報告第19号」につきましては、非公開といたします。

傍聴人の方は、退席いただきますようお願いいたします。

それでは、会議日程に戻ります。

報告第18号 指定学校の変更許可について 事務局の説明をお願いいたします。

小泉学校教育課長 【報告第18号について説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので、次に移ります。

報告第19号 令和8年度就学援助申請に伴う児童生徒の認定結果について 事務局の説明をお願いいたします。

小泉学校教育課長 【報告第19号について説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので、報告は以上になります。

ここで傍聴人に入室していただきます。

傍聴人の皆様、ご協力ありがとうございました。

続きまして、「日程３ 議案」に入ります。

ここで皆様にお諮りいたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第１４条第７項の同項のただし書きの規定により、人事に関する事件その他の事件について教育長または委員の発議により、出席委員の３分の２以上の多数で議決したときは、会議を公開しないことになっています。

この後の「議案第３９号」につきましては、教科用図書の採択が、教育委員会の権限と責任において公正かつ適正に行われ、また、外部からのあらゆる働きかけにより採択結果が左右されることがないように、静ひつな環境の中で適切に審議する必要があります。

そのため、「議案第３９号」については、意思形成過程の案件であること、かつ公正な審議を確保する必要があることから会議を非公開にしたいと思いますが、賛成の委員の挙手を求めます。

（委員全員 挙手）

小野教育長 全員一致ですので、議案第３９号につきましては、非公開といたします。

傍聴人の方は、退席いただきますようお願いいたします。

ここで、暫時休憩します。

休憩前に引き続き、再開します。

ここで傍聴人に入室していただきます。

傍聴人の皆様、ご協力ありがとうございました。

次に移ります。

議案第40号 常陸大宮市文書館運営審議会委員の委嘱及び任命について
を議題とします。事務局の説明をお願いします。

戸澤文化スポーツ課長 【議案第40号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので、裁決に移ります。

議案第40号につきましては、原案のとおり可決することで、よろしいでしょうか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第40号につきましては、原案の通り可決いたします。

以上で、議案が終了しました。

続きまして、「日程4 その他」に移ります。

(1) 各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 外 【行事予定説明】

小泉学校教育課長 【教育委員の予定説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、(2) 教育委員会所管事務契約案件報告について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【契約案件説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、(3) その他について 事務局又は委員の皆さまから何かありましたらお願いします。学校教育課長、何かありますか。

小泉学校教育課長 私の方からは2点ございます。

まず最初に、7月1日の水曜日に第4回事務教育施設適正配置審議会を開催しましたのでご報告をいたします。資料2を添付しておりますのでご覧いただきました

と思います。これは審議会の議事録と、義務教育施設適正配置審議会で5月に実施しましたアンケート調査の結果になります。詳細につきましては後でご確認していただきたいと思います。第4回の7月1日の審議会では、このアンケート調査の結果等をまずご確認していただき、その後、各委員から三つの視点でそれぞれご意見をいただいております。一つ目の視点として、小中学校の学校規模について。二つ目として通学時間や通学方法について。そして三つ目は、学校と地域の関係や今後の学校配置のあり方についてです。審議会の今後のスケジュールにつきましては、今回、各委員からいただいた意見をもとに、7月31日、今週金曜日に第5回の審議会を開催し、教育委員会への答申（案）について具体的に協議していただく予定です。まずこちらが1点目になります。

続いて2点目としまして、本日、常陸大宮市立小中学校 生成A I 利活用ガイドラインというものを教育委員の皆様にお渡ししていると思います。生成A I の利活用については国のガイドラインに基づき運用を各学校でしているところですがこの度、本市立小中学校 生成A I 利活用ガイドラインを改めて策定し、学習用のアカウントで利用できるよう運用を開始したいと考えています。こちらの学習用アカウントで利用できる生成A I は、表紙の裏の下側に表に示されておりますG e m i n i というものとN o t e b o o k L M というものになります。こちらについては、利用可能な者として教員、児童、生徒ということで、利活用場面がそれぞれ授業や校務であったりということで、それぞれ示してありますが、まず教員の利用開始については8月からを予定しております。児童生徒については今後教員の方を対象とした説明会等を開催した中で、後期が始まる10月13日から児童生徒については利用できるように考えております。なお、生成A I でございますので、あらかじめ学校教育課の方でこちらの機能をカスタマイズして学校に配布した中で、各学校では、先生が授業等で使用できるようにしてまいりたいと考えております。

学校教育課の説明は以上になります。

小野教育長 ただいまの件について質問があればお願いいたします。宮本委員どうぞ。

宮本委員 第2条の厳守事項のところで、下記のような生成A I の活用は行ってはならないという（1）で、こういった目的以外で利活用してはならないとありますが、例えば子供たちが家に持ち帰って使おうと思えば使うことはできるんですか。

小泉学校教育課長 そこも使えるものだと思うんですけども、ただ、先ほどのカスタマイズという話で、イメージ的には学校の先生が教えた中で、生成A I に答えを聞いても答えが出ないような形、アドバイスのものをA I の方ではお願いをして、いわゆるT Tみたいなイメージの生成A I を考えております。以上です。

宮本委員 そこはカスタマイズっていうことですね。確認になってしまうのですが、第1の基本事項の中の①で、利用者の入力した情報が生成A I 側で再学習されないものってというのは、例えば何か個人情報のものを言ってしまったとして、それをその後もう1回使うということになったときに、その個人情報のものとか前に質問した履歴とかが無い、まっさらな状態で作れる、使えるっていう認識でいいでしょうか。

小泉学校教育課長 そちらはちょっと確認をさせていただいて、おそらくそのような形になるかと思います。個人が特定されないっていうことは、もちろん大前提にあるでしょうから。

小野教育長 要するに重ねていったものがまた膨らんでいくと、自分の意図とは違うものになって別の存在になるから。それはA I の基本ですよ。それは無しにすると。

宮本委員 ありがとうございます。

小野教育長 その他ございますか。

それ以外で委員の皆様方から何かありましたらお願いいたします。菊池委員お願いします。

菊池委員 テレビを見ていましたらニュース番組で、奨学金を滞納している学生あるいは就職した人が返還するというのがなかなか。利子が生じて大変になってきているっていう特集が組まれていました。奨学金の利子というとそんなに大きなものではないかなと感じたんですけど。その番組自体が奨学金だけを言っているのか教育ローンとかも含めているのかちょっと分からない部分もあったんですけども、これから奨学金をどのように活用して、主体的な学びを支えていくかが主として大事なところかなと感じながら見ていました。市の方は無利子ということですのでね。その後、今年 of 教育行政の概要をもらったんですけども、去年に比べると貸与の数が増えているんですよ。去年は本当に少なかったんです。去年よりも倍に増えているということ。保護者や生徒の意思の中でそれを決定していくことかと思うんですけども、非常に増えてきたということで、残金の額などから見れば、市としては喜ばしいことかなと感じながら見ていました。そして、6月25日付けの市の広報紙に追加募集が出ていたので、市としてやはり学びを支える、一生懸命学びたいというような子供たちを支えるシステムといったところで、いいなと思いながら見た上で、一つ私が感じたのは、貸与額が高等学校、高等専門学校が2万円以内、それから高等専門学校の4年課程、専門学校、大学、短期大学が5万円以内と入っていたんです。申請資格を見ていくと、他の奨学金を受けていない人っていう項目が入っている。今、物価が上がってきている状況の中で、東京辺りの大学に進んで学びを深めたいという思いの生徒たちから見ると、5万円っていう上限をもう少し増やせないものなのかな。例えば6万円とか7万円とか。考え方としては、たくさん借りれば返さなくちゃならない部分はあるので、大変にはなってくるんですけども、その辺りは保護者や生徒の意思決定の中で決めていくものと考えて、もう少し上限を増やして。他の奨学金を受けていないという条件もあるので、市の無利子の奨学金を活用して、勉強を深めていける、それを応援していけるような奨学金制度になっていけばいいな

と思って質問しました。この辺り検討していただければと思います。高等学校の場合は2万円以内ということで、高等学校の授業料無償化もありますので、その辺りも検討しながらとなるんでしょうけれども、大学の場合は物価や家賃も高騰と、いろんな条件の中で、なかなか苦しい思いをしている大学生もいるのかなと思います。返還していくことを考えれば、あまり上限を上げるということもできないんでしょうけれども、他の奨学金を受けていない人という限定もありますので、検討してもらえないかなと思って質問しました。

小野教育長 学校教育課長お願いします。

小泉学校教育課長 ただいまの奨学金の話なんですけれども、今年度は去年に比べて倍ぐらいの人数で、これは先ほどおっしゃった通り、他の奨学金の利子型っていうと多分利率がどんどん上がって、常陸大宮市は利息0で貸しておりますので、常陸大宮市の奨学金を利用される方が増えてくるのかなと私は感じております。常陸大宮市の奨学金というのは、市の条例に基づいて常陸大宮市奨学資金等貸与条例を制定された中で運用しております。こちらにつきましては、当市は平成16年10月に合併しまして、それ以前はそれぞれの町村の条例等で貸していたものを、条例で一本化した中で、高等学校については月額2万円、専門学校、大学については5万円ということで、合併以降はその金額で、もう既に20年この金額が継続されているような状況でございます。確かに菊池委員さんのおっしゃった通り、20年間同一の金額でなされていたんですけれども、いわゆる近年の物価高騰で、よりお金がかかってくる。また、市で借りる場合には他の奨学金は使えないっていうものもある。あとは返還期間もありますので、そういったものを含め、検討してまいりたいと考えております。

菊池委員 返還期間もあるわけですね。

小泉学校教育課長 返還期間については卒業後10年以内に返すという決まりになっております。

菊池委員 その金額が増えれば、返すのも大変になってくるかと思うので、その辺りも検討して。

小泉学校教育課長 他の自治体等も調査した中で検討してまいりたいと考えております。

小野教育長 他にございますか。宮本委員お願いします。

宮本委員 2つあります。

まず、ミュージックフェスティバルファイナルに行ってきた、すごく感動しました。最後に常陸大宮吹奏楽団の山田先生から、いろいろ大変ですが、子供たちにやっぱりこういう場をつていう話があったんです。部活動の地域展開もありますけれども、常陸大宮吹奏楽団は確か自分の楽器を持ってないと入れないっていうのを聞いたことがありまして、やっぱり楽器って高価なもので、誰でも持てるものではないですし、あとは大きい楽器は持っていたとしても運ぶのが大変っていうこともあると思います。中学校が合併したときに、廃校になった中学校の楽器ってどうなってるのかなとか、少子化で吹奏楽部に余っている楽器があるのであれば、そういったものを有効活用すると常陸大宮吹奏楽団がもっと活発化するのに、何か使えないのかなと考えて聞いてました。

あと1つなんですが、先日の学校訪問で山方中学校に行ったときに、スタサブとeライブラリの話聞きまして、私こんなのあるんだなんて思ったんですが、他の保護者に「子供って家でタブレットやっている？」なんて話題にして聞いてみたんですね。もう中学生になると自分の部屋があるから、やっているかどうかなんていう話で、スタサブとかeライブラリでこういう苦手が分かる機能があるらしいよって言ったら、そんな機能があってそれで進められるのであれば、そういうのを積極的にやれば、塾に行かなくていいよねっていう、すごく肯定的な反応がありました。そういう話を聞きたい、聞けるのであれば業者の方から直接聞きたいなっていう保護者もいたので、山方中学校さんで今後一生懸命やっていく

っていう話だったのですが、ぜひ他の中学校でも積極的に保護者に働きかけてほしいなと思いました。以上です。

小野教育長 指導室長よろしいでしょうか。

阿部指導室長 スタサプやeライブラリなどのA I機能に関しましては、常陸大宮市内の全部の小・中学校で、どこでつまづいているか分析をして、夏休みに教職員の方できちんと分析した結果を子供たちに戻す予定でいます。その際に子供だけでなく保護者の方にもきちんとお伝えして、その子の持っている弱み、そして今後さらに伸ばした強みについて、スタサプやeライブラリをもう少し使えるようになっていうことは、教育委員会の方でも声掛けをして、学校から子供や保護者の方にお伝えできるようにしていきたいと思います。

宮本委員 特に受験生の保護者がすごく興味を持った感じがあるので、ぜひお願いします。

小野教育長 他にございますか。楠委員お願いします。

楠委員 海外研修のことなんですけれども、うちの娘は参加させていただいて10年以上経っているわけなんですけれども、そのときにも同級生で参加費用のことでちょっと躊躇してしまうって。市の方で半額を持っていたいただいているので、うちはこれよりもっと安かったんですけれども、でもこの値段で今オーストラリアまで行ってホームステイ4泊してってということで、頑張ってくれているなと思うんですが、非常に英語に興味を持っていて、行きたいんだけど家庭の事情で躊躇してしまうっていう子もやっぱりうちの娘の時代もいたんですね。だから多分今もいるんじゃないかなということは感じるんですけれども。私の考えなんですけれども、例えば常陸大宮市で特別枠では無いんですけれども、例えば今はスピーチコンテストみたいなことやってっているんですか。ちょっと勉強不足なんですけど県とかで。

小野教育長 指導室長どうぞ。

阿部指導室長　　高円宮杯とか、茨城キリスト教大学とかでスピーチコンテストもあるんですけども、その他に中学校はプレゼンテーションフォーラムという県の事業がございまして、英語で考えたプレゼンを他校の子とやり取りするという事業がございまして。そういうものを中学校で頑張っているところがあります。

自分も昨年度、大宮中のか、英検 4 級を取ってオーストラリアに行きたいって思いを持っている子たちが中 1 のときからいたので、市での半額しかまだ補助できないっていうのが、保護者の方からすると、もったいないのはあるかもしれないですけど、自分は逆に半額とか、2 3 万円では行けない金額なので。英検を取って英語力をつけて行くっていうことで、さらに今後の自分のモチベーションアップになるのかなっていうのはあるので、ぜひもう少し魅力とかも学校の方に伝えていけるといいかなと思います。家庭の方での費用がご負担になってしまって申し訳ない。

楠委員　　その流れで、例えばプレゼンテーションフォーラムに出ている子供たちで、優秀な成績と言うか、もしも順位付けをするのであれば、そこで上位に入賞した子が特別では無いんですけども。もしくは英検 4 級じゃなくて 2 級とか。そういう誰が見ても分かるような、この子はそうだよっていう、目に見えて推薦されるような条件があれば、1 名もしくは 2 名とか。そこがまた難しいんですよ。費用の関係で、自分たちで出してもらって行けるんじゃないかって、ひょっとしたらそこも出てくると思うんですが、何かうまくそういうのができればいいななんて私ちょっと考えていたんですけど。私の一つの考えですのでここで留めていただいて結構なんです。

小泉学校教育課長　　合併以降のデータでは 10 万円ちょっとで同じような研修を 7 日から 8 日間っていう実績があるんですけど、今年度については 2 3 万円を保護者の方から負担をしていただいています。その一方でやはり金額が大きくなってきたからちょっと行きづらいという声も直接入っているわけじゃないんですけれど

ども学校の関係者から話を聞いてはおります。今せつかく楠委員さんからそのようなご意見をいただいたので、できるかどうかはまた別としましても、そういった特別枠っていうものを、できるかどうか分からないですけれども事務局としては検討しなければならないというのは感じております。ご意見としていただいた中で検討してまいりたいと思っております。

小野教育長　今の楠委員から出た意見、すごく大事なことだと思うんですよ。この事業で思うのは、経済的な負担によって行けない子っていうのは、ある意味差別を受けることと同じだろうということになるので、それを何とか解決する方法はないかということで、学校教育課長があちこち行って調べてくれたりしているんですけれども。この英語研修っていうのは、私も英語の教員なので、どこに目的を置くかで全く違って来るんですね、働きかけが。楠委員さんが言ったように、英語に非常に特化できる、力を持った人間を更に伸ばすという考え方と、英語なんてどうせやらないよっていうのをわざわざ連れて行って、外国の空気を吸わせて、日本人ってこれだけの枠で生きていていいのかっていうことを分からせるためのものだったりもするし、そういう考え方もやっぱり必要になってくるだろう。今のところ常陸大宮市は人数的にまだかなり多いので、どうしても補助の方に回っているんですけれども、例えばこれが3分の1ぐらいの人数だったら外国を修学旅行にしちゃえばいいんですよ。その代わりちょっと大変かもしれないけれど。そういう考え方がいろいろある。ぜひそれはいいじゃなくて、失礼しようよっていうか、そっちの方向にいろいろ協議していきたいと思っています。ありがとうございます。

その他ございますか。菊池委員どうぞ。

菊池委員　宮本委員さんの先ほどの楽器の件で、閉校になった美和中学校と御前山中学校の楽器は明峰中学校に行っていますよね。明峰中学校の場所にあった緒川中学校は吹奏楽が無かったんです。合唱だったんですよ。美和中学生と御前山中学

生は吹奏楽をやっていたので、新たに明峰中学校の現在の吹奏楽部が出来たと。楽器はそれぞれの学校から持ち寄っています。今、話されたことで、山方中学校はほとんどもう吹奏楽の活動は無いので、山方中学校にある楽器を、どのように有効活用できるのかっていうのは、ちょっと考えていたところだったんですけどね。もしあのとき山田先生が話されたように、これから部活動が地域展開となって、そして中学生が土日、もし常陸大宮吹奏楽団に入って一緒に教えてもらいながら活動を進めていくということになれば、そうした提案されたようなところ、楽器の置き場所とかもあるかと思うんですけども、考えていかなければならないのかなとは思っていました。

小野教育長 もし空いている楽器があれば、常陸大宮吹奏楽団に限らずとも、全体を踏まえて、その子が楽器が無ければそこに所属できないっていうのであれば、これは市の財産ですからあげるわけにいかないけれど、貸すことはできるはずだから貸与っていう形で貸して、やっている間はある程度いいよということとはできないはずでは無い。もしそういう人がいれば、ぜひ協力してあげたいなと思いますけれどね。

その他ございますか。

無いようですので、続きまして、「日程 5 次回の定例会日程について」 事務局からお願いします。

小泉学校教育課長 （8月定例会について日程調整）

小野教育長 それでは、次回定例会は、令和8年8月25日 火曜日、午前10時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会 7月定例会を閉会いたします。

（閉会：午前11時48分）